

日本語添削ワークショップ

留学生向け論文チューターの課題と実践

2019年

10月16日(水) 17:30-19:00
(開場17:15)

チューターHP

場所：東1号館2階 1208 (事前申込不要)

論文チューターの役割は、留学生の修士・博士論文を添削し、執筆をサポートすることです。ともすれば孤独な仕事ですが、ワークショップを通じて、チューター仲間を作りませんか？制度概要と実践案を学んだうえで、添削を体験してスキルを高めましょう！

チューター経験者はもちろん、関心のある方はどなたでも歓迎です。

第1部 趣旨説明

17:30-17:45

田口陽子 (一橋大学大学院社会学研究科 講師/留学生アドバイザー)

チューター制度の概要と課題を説明したうえで、留学生とチューター双方がより良い書き手になることを目指す、本ワークショップの位置づけをお話します。

第2部 論文チューター実践案の紹介

17:45-18:20

大角洋平 (法学研究科博士後期課程)

吉田聡宗 (法学研究科博士後期課程)

吉田真悟 (言語社会研究科博士後期課程)

「諸制約の中でのチューター実践」

様々な制約(研究時間、能力、人間関係)を満たしつつ、留学生の満足度を最大限に向上させるためには、どのようなチューター実践がありうるでしょうか。

三人のチューター経験者が実践案を紹介します。

- ① 対面チューター・時間制約の合理性の検討 (法研・大角)
- ② 頻発するエラーを採録するError-logの紹介 (法研・大角)
- ③ 留学生の主体性を尊重する時間配分・依頼シートの提案 (法研・吉田)
- ④ 日本語添削室チューターからのコメント (言社・吉田)

第3部 ワークショップ(添削実践)

18:20-19:00

実践案をもとに、留学生が書いた資料(日本語)を実際に添削し、チューター活動を体験してみましょう。その後、参加者が相互に添削を共有し、意見交換を行います。

ワークショップの最後には、論文チューター活動の改善に向けて全体で自由に議論します。

問い合わせ： 国際教育交流センター 留学生・海外留学相談室
田口陽子 (yoko.taguchi@r.hit-u.ac.jp)



一橋大学